平成２９年度安城市公開行政レビューについて

１　公開行政レビューのポイント

①評価員１人１人との議論をより深めるため、市民評価員の人数を変更。
（２０人⇒１０人）

②事務事業総点検から事業の「見直し」と判断した事務事業を選定することにより、論点を明確にし、市と評価員との活発な議論。

③公開行政レビューを「市の事業を知る機会」と位置づけ、事業を理解していただき、事業をより良くする改善の視点での議論。

２　スケジュール

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	●7/10 委員会 （レビューの方針） ●事業選定			●10/13 事前説明会	★11/12 公開行政レビュー	●12/27 委員会 （評価まとめ・市長へ報告）	→ 見直し方針策定	→●公表	

３　事業選定の選定区分及び事業選定の流れ

【選定区分①（レビューのポイント②）】
事務事業総点検から事業の「見直し」と判断した事務事業より選定

【選定区分②（レビューのポイント③）】
実施計画事業のうち、市として周知を図る事業を選定

１次選定

①平成２８年度に実施した事務事業総点検対象事業７８３事業のうち、「見直し」と判断した事務事業にから
「２１１」事業を抽出。

２次選定

①１次選定事業から市として外部の意見を聞く必要があると考える事業、
②実施計画事業のうち、市として周知を図る事業から
「７」事業を選定。

３次選定

２次選定事業から行政評価委員会で
「３」事業、模擬レビュー１事業を選定。

２次選定（７事業）

【選定区分①】

No	課名	事業分野	事務事業名	選定事業数
1	秘書課	企画	広報あんじょう発行事業	本番２事業、模擬事業を選定
2	環境都市推進課	環境	秋葉いこいの広場施設管理運営事業	
3	都市計画課	都市整備	あんくるバス利用促進事業	
4	総務課	教育振興	私立高等学校等授業料補助事業	
5	生涯学習課	生涯学習	市民盆踊りの集い開催事業	

【選定区分②】

No	課名	事業分野	事務事業名	選定事業数
1	学校教育課	教育振興	学校図書館教育推進事業	本番１事業を選定
2	スポーツ課	生涯学習	ホームチームサポーター事業	

４　公開行政レビューの実施について

①　日程・会場
１１月１２日（日）　午後１時３０分～午後５時
アンフォーレ ホール

②　対象事業数（３事業）　※「５事業から３事業」へ変更

③　進め方（１事業５５分）

担当課による事業説明〈１０分〉 → 行政評価委員による質疑応答〈１０分〉 → 評価員（市民評価員・行政評価委員）による質疑応答〈２５分〉 → 評価員による評価（評価シートの記入）〈3分〉 → 行政評価委員の意見〈5分〉 → コーディネーターから評価発表・総括〈2分〉

※「評価員による評価」を「５分から３分」に変更。
※「行政評価委員の意見」を「３分から５分」に変更。

④　評価員等の参加者

ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ（進行）		行政評価委員会委員長　１名
評価員	行政評価委員	行政評価委員　５名
	市民評価員	市民抽出５００名から募集５名程度 パートナーバンク登録者１４４名から募集５名程度 （行政評価委員・事業仕分け・公開行政レビューに参加した２７名を除く）

⑤　評価の区分

拡充	事業規模（事業量、予算、人員）を拡大し、事業内容を大幅に充実させるもの
要改善	事業規模または事業内容は継続するが改善する必要があるもの※
現行どおり	事業規模または事業内容を維持・継続するもの
縮小	事業規模または事業内容を減らすもの
廃止	事業を廃止するもの

※実施主体の見直し、事業の手法・内容の一部見直し等

５　公開行政レビュー後

【取組方針の策定】

①　行政評価委員会で評価結果をとりまとめ、市長へ報告（１２月）

②　行政評価委員会の評価結果を踏まえた取組方針を策定・公表
（平成３０年１～２月）

③　取組方針の平成２９年度の取組状況調査を行い、公表
（平成３０年６月）

６　事前準備

【市民評価員募集（１０名）】（事業選定後に募集）

①市民抽出５００名に対し、５名程度を募集

②行政に関心の高いパートナーバンク登録者１４４名に対し、５名程度を募集
（行政評価委員・事業仕分け・公開行政レビューに参加した２７名を除く）

【事前説明会】（１０月１３日（金）午後1時30分　市役所大会議室）

①コーディネーター・評価員（行政評価委員、市民評価員）・市職員を対象にレビューの概要、調書のポイント、安城市の財政状況、レビュー対象事業の概要説明等を実施

②本番同様に模擬の公開行政レビューを実施

７　その他

【市民評価員の質疑応答のルールを変更。】

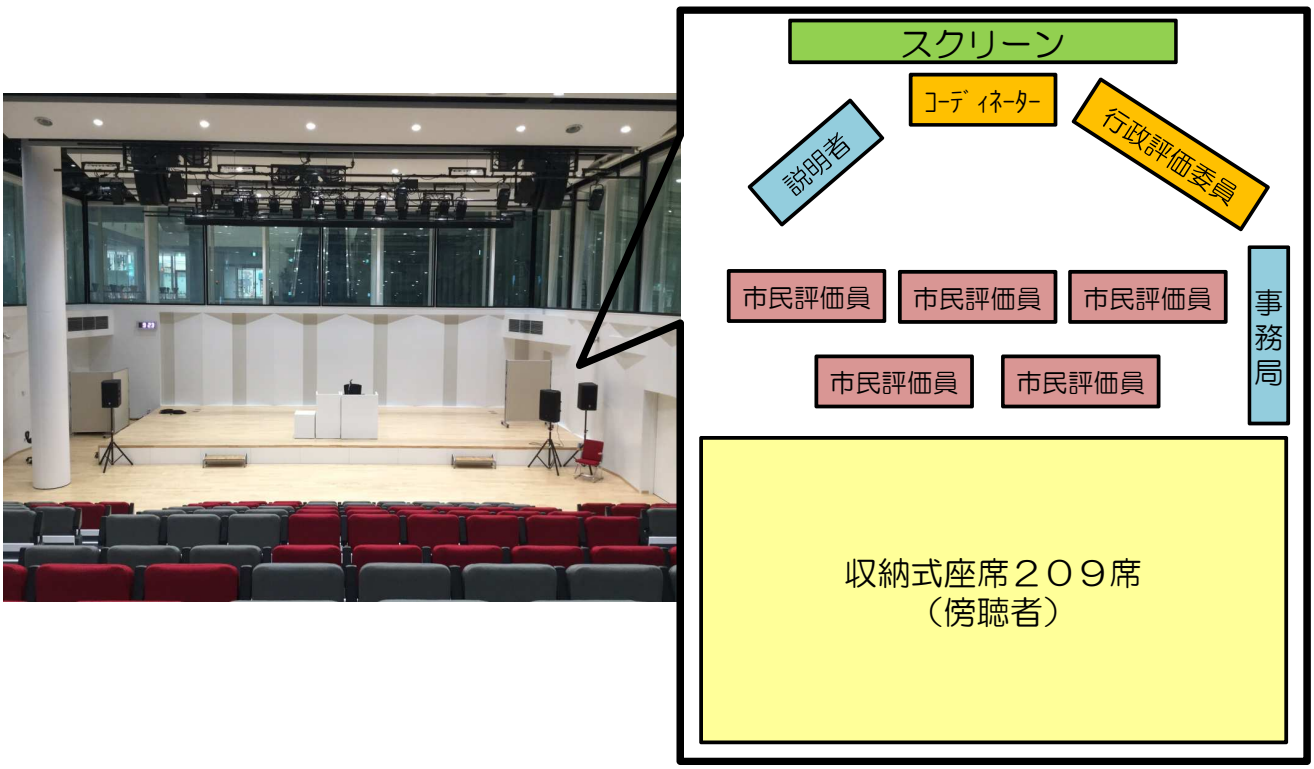
【平成28年度】
①より多くの方にご意見をいただくため、質問は１人１分程度とし、簡潔なものとする。

②再質問は１回までとする。

【平成29年度】
①評価員１人１人との議論をより深めるため、１人１回につき１分程度とし、簡潔なものとする。

②再質問の制限は設けない。

【会場レイアウトの変更（会場レイアウト図案）】



【公開行政レビュー事業評価シート（資料１参照）】

大項目	内容
基本事項	【事業内容】事業として何を実施しているのか。 【目的】誰を対象として行い、どのような状態にしたいのか。
事業概要	【実施内容】平成28年度に実施した主な事業、取組実績等。 【活動実績】平成26,27年度に実施した主な事業、取組実績等。 【改善取組】これまで事業をどのように見直してきたか。 【関連事業】他の同一目的事業は何があるか。
事業費	【年間事業費等】人件費を含めた平成26～28年度までの事業費。 〇事業費の内訳：平成26年度～28度度における主な経費。 【財源内訳】一般財源（市が負担する費用）と特定財源（国庫・県支出金・受益者負担等）の内訳。
参考比較 （他市の実施状況）	他の自治体との比較により、当市の事業規模やサービス水準はどうなのか。
課題	事業を実施するにあたり、社会情勢やニーズなどの環境変化等、どのような課題があるか。
論点	市としてどのようにしていくか。（公開行政レビューで議論をする内容）

【公開行政レビューのＰＲの充実】

（アンフォーレ投稿掲示板）

〇アンフォーレ投稿掲示板や庁内デジタルサイネージの活用

〇公共施設等に公開行政レビューのチラシ配置　　等

【公開行政レビューを新規採用職員の研修として実施】

【平成２９年度公開行政レビューの主な変更点】

①市民評価員の人数（２０人⇒１０人）を変更。

②事業選定において、選定区分を２つ設定。

③市民評価員における質疑応答のルールの変更。
（１人１分程度⇒１人１回につき１分程度）

④会場レイアウトの変更。

事業選定案（本番３事業＋模擬１事業）

市としての対象事業案

秋葉いこいの広場施設管理運営事業 ⇒　本番１事業

あんくるバス利用促進事業　⇒　模擬

【選定区分①】

Ｎｏ	課名	事業分野	事務事業名	選定事業数
1	秘書課	企画	広報あんじょう発行事業	本番１事業を選定
2	総務課	教育振興	私立高等学校等授業料補助事業	
3	生涯学習課	生涯学習	市民盆踊りの集い開催事業	

【選定区分②】

Ｎｏ	課名	事業分野	事務事業名	選定事業数
1	学校教育課	教育振興	学校図書館教育推進事業	本番１事業を選定
2	スポーツ課	生涯学習	ホームチームサポーター事業	

市選定事業「秋葉いこいの広場施設管理運営事業」

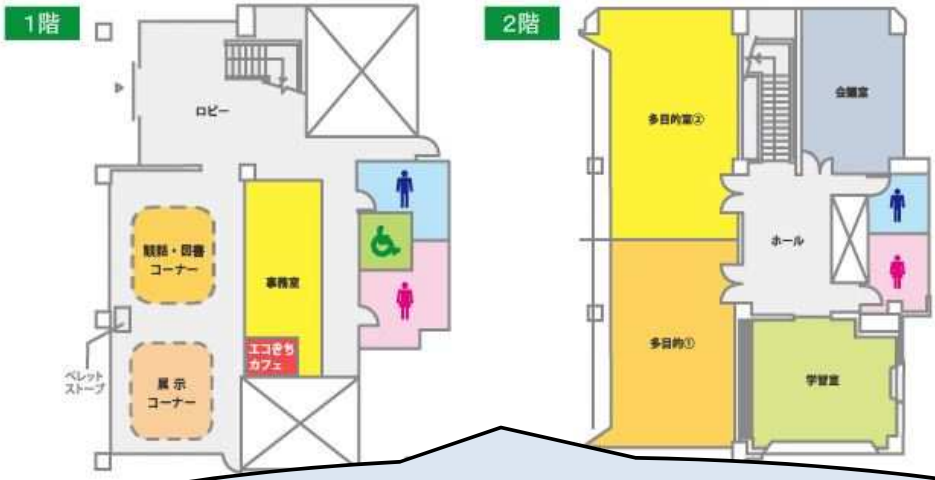
【事業概要】

秋葉いこいの広場は環境展示、体験スペースや多目的室等からなる環境学習センターとテニスコート２面を有する施設です。

環境学習センターでは、体験講座やイベントを通じて自然や環境問題について学べる機会を提供しているほか、一般利用として多目的室やテニスコート等の貸出も行っています。

市選定事業「秋葉いこいの広場施設管理運営事業」

【施設管理】
指定管理者：西三河エリアワン・エコネットあんじょうグループ
指定期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日（５年間）



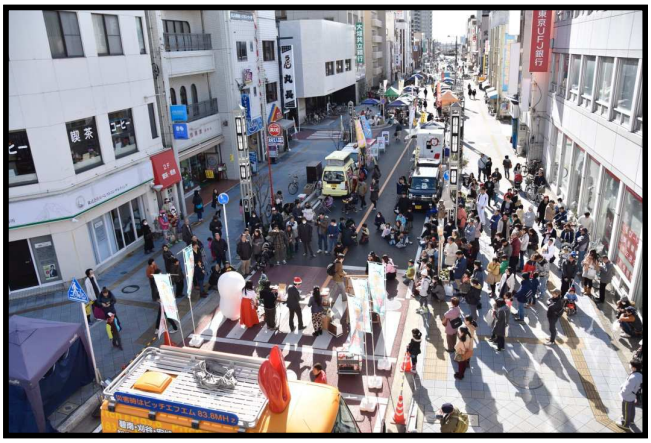
【課題】
昭和５５年に建設され、施設の老朽化が進んできている。
施設の維持管理経費等を考慮しながら、施設の存廃を含めた今後の施設のあり方について検討をしている。

市選定事業「あんくるバス利用促進事業」

市選定事業「あんくるバス利用促進事業」

【事業概要】
　無料乗車券の配布等により、未利用者への乗車機会を提供することで、あんくるバスの利用者増を図ります。

【平成２８年度無料キャンペーン利用者数】３，５７６人
【取組内容】
　夏休み小学生無料乗車キャンペーン・安城まちなかホコ天きーぼー市



選定区分①「広報あんじょう発行事業」

【事業概要】
広報あんじょうは毎月２回（１日、１５日）発行し、全戸配布を行っています。原稿は、市役所各課、関係機関、団体から提出される原稿や広報担当者が独自に取材した内容を、特集・お知らせ・その他のページの記事として掲載しています。

【平成２９年６月１５日号】
発行部数：７３，０００部
　　１部：２９．５円

選定区分①「私立高等学校等授業料補助事業」

【事業概要】
保護者の経済的負担の軽減、教育の機会均等の原則を確保するとともに私立高等学校等の教育振興を図るために、私立高等学校等に在籍する者の保護者に対して、授業料の補助を行っています。

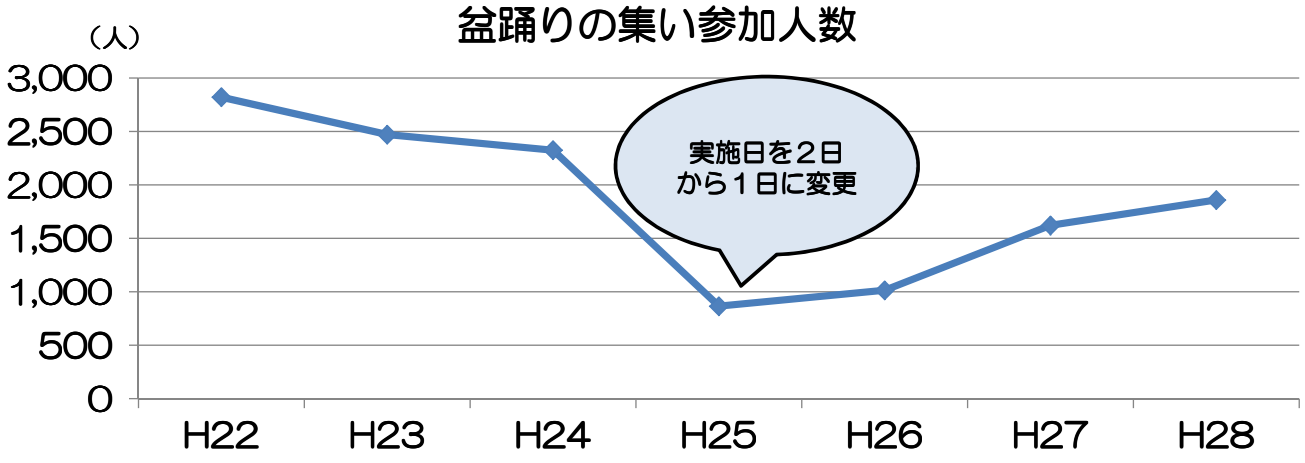
【平成２８年度実績】

区分	補助金の額（円）	人数（人）	金額（円）
市民税の課税の基準となる課税総所得金額が230万円以下の世帯	１８，０００円	244	4,392,000
市民税の課税の基準となる課税総所得金額が230万円を超える世帯	１２，０００円	858	10,296,000
納付すべき授業料の額が補助額に満たない場合など	上記以外	26	190,980

選定区分①「市民盆踊りの集い開催事業」

【事業概要】
安城市青年団協議会（青少年団体）の活動のアピールの場として、行っており、盆踊りを通して、市内外の青少年団体のみならず、各種団体との交流を深めています。

【平成28年度実績】
日　時：平成28年8月27日(土)
場　所：安城市総合運動公園
実施主体：市から「安城市青年団協議会」に委託



選定区分①「市民盆踊りの集い開催事業」

【課題】
社会情勢の変化に伴い、青年団活動が衰退している。盆踊りの開催が重荷となっていることから、継続実施の可否について検討する時期にきている。

選定区分②「学校図書館教育推進事業」

(継続)	50款	05項	15目	教育指導費	総合計画：こども（子どもたちを社会で豊かに育むまち）	
	学校図書館教育推進事業				〔平成29年度予算額〕 19,874 千円	教育振興部学校教育課 指導係 TEL 71-2254

子どもの読書活動を推進するために、司書教諭や図書情報館と連携をとりながら、学校図書館の利用促進を図ります。

1. 事業概要と沿革

- H18.6 「安城市子ども読書活動推進計画」を策定
- H25.4 学校司書8名を各中学校区に巡回方式で配置
- H27.4 「学校図書館法」改正。学校司書の配置を努力義務付
- H28.4 学校司書を15名に増員

→

- H29.4 各校1名体制に向けて学校司書を増員
- 児童生徒への読書活動及び学習活用支援の充実を図る

2. 期待される効果

図書情報館

図書館での授業の様子

選定区分②「ホームチームサポーター事業」

(継続)	50款	30項	05目	保健体育総務費	総合計画：健康（生涯にわたり心身ともに健康にすごせるまち）	
	ホームチームサポーター事業				〔平成29年度予算額〕 2,600 千円	生涯学習部スポーツ課 スポーツ振興係 TEL 75-3535

安城市をホームとする全国レベルの企業チームを市民が応援し、選手がジュニア指導することで、スポーツに親しみ、魅力あるまちづくりを図ります。

1 事業概要

安城市をホームとする全国レベルのチームの試合を観戦することで、スポーツをするきっかけづくりやホームチームを市民が誇りに思い、応援する地盤を形成します。
また、小中学生向けの指導会などを開催することで、次世代を担うアスリートの育成を図ります。

予算内訳：委託料（実行委員会）　2,600千円

サポーター事業啓発チラシ

2 平成29年度事業計画(案)

①実行委員会の開催（年4回程度）
企業、競技団体、学校関係者などで構成した実行委員会を開催し、ジュニア指導会の日程や各チームの大会応援機会の創出などを協議します。

②ホームチームによるクリニックの開催
安城市のジュニア選手の技術力向上のため、中高生を中心にクリニックを各チーム1回実施します。

③日本リーグ等の応援・支援
ホームチームが所属する日本リーグなどの情報発信やホームゲームを協働で盛り上げる機会を充実します。
（近隣市で行う試合の観戦ツアーの企画等）

④その他PRイベント・広報活動
・広報へチーム紹介の折込やチーム紹介記事を掲載します。
・各種イベントに選手が参加したり、チームのPR活動を行います。

日本リーグ応援イベント

ウィングスクリニック

3 平成28年度実績

①実行委員会の開催（年4回）

②ホームチームによるクリニックの開催（各チーム1回）
【アイシンAWウィングス】：4月23日（土）篠目中学校体育館：市内8中学校女子バスケットボール部参加
【デンソーブライトペガサス】：7月28日（木）デンソーグラウンド：市内3中学校及び高等学校女子ソフトボール部参加
【GTRニッセイ】：2月26日（日）和泉グラウンド：市内小学生クラブチーム（開催予定）

③日本リーグ等の応援・支援
【デンソーブライトペガサス】：9月24日（土）豊橋市民球場：市民無料観戦デー　※雨天のため、中止
【アイシンAWウィングス】：10月29日（土）、30日（日）安城市体育館：サルビーやきーぼーが試合応援し、ダンスなどの盛り上げを実施。また、市民特別入場割引実施。

④その他PRイベント・広報活動
・広報へチーム紹介、スポーツ施設で横断幕の掲示及び商店街にて応援フラッグの掲示（予定）

ブライトペガサスクリニック

No	3	事業名	アグリライフ支援事業

所属	産業振興部農務課農政係	事業開始年度	平成19年度
事業内容	市民が野菜栽培の基礎知識や技術を習得し、家庭菜園での野菜づくりができるようになるよう、食と農に関する研修、講座等の開催や栽培技術等の相談を行います。		
目的	農業未経験者・初心者等に農業にふれあうきっかけを提供し、農業を楽しむことのできる心豊かな暮らしづくりを進める。		

【実施状況】

平成27年度実施内容

4～5カ月の長期講座「野菜づくり入門コース」と、1回～6回の短期講座「スポット講座」、「体験農園」を開催。

【野菜づくり入門コース】
・春夏野菜づくり（12期）期間：4月3日～8月7日　全32回（週1～2回）
参加者数：30人（うち男性25人、女性5人）
講座出席率：95．4％
・秋冬野菜づくり（13期）期間：8月25日～翌1月29日　全32回（週1～2回）
参加者数：30人（うち男性23人、女性7人）
講座出席率：95．8％

【スポット講座】
・一坪農園（春夏野菜）
開催日：4月25日～6月27日　全6回　参加者：27組66人
・ミニトマトプランター植付体験
開催日：5月9日　参加者：14組40人
・親子サツマイモ植付・収穫体験
開催日：5月16日（植付）、10月17日（収穫）　参加者：34組124人
・親子秋ジャガ植付・収穫体験
開催日：8月29日（植付）、11月21日（収穫）　参加者：17組57人
・一坪農園（秋冬野菜）
開催日：9月5日～翌1月17日　全6回　参加者：20組56人
・親子イチゴプランター植付体験
開催日：11月7日　参加者：23組70人

【体験農園】
・とうもろこしもぎ取り体験　開催日：7月4日　参加者：36人

活動実績

平成26年度	・野菜づくり入門コース　春夏野菜づくり：30人、秋冬野菜づくり：30人 ・スポット講座　ミニトマト：16組41人、親子サツマイモ：33組97人 親子秋ジャガ：27組58人、プランター野菜植付：6組12人 一坪農園：18組23人、イチゴプランター：25組73人 ・体験農園　とうもろこしもぎ取り体験：39人
平成25年度	・野菜づくり入門コース　春夏野菜づくり：30人、秋冬野菜づくり：30人 ・スポット講座　ミニトマト：22組68人、親子サツマイモ：30組96人 親子秋ジャガ：20組61人、プランター野菜植付：10組25人 イチゴプランター：26組75人 ・体験農園　とうもろこしもぎ取り体験：40人

改善取組（これまでの改善内容）	応募者の利便を図るため、応募方法を見直し、電子メール、インターネットでの申し込みを可能としました。また、講座の見直しを行い、プランター野菜植付講座の廃止や新たに一坪農園講座の開設をしました。
関連事業（同一目的事業等）	なし

【事業費】

年間事業費等の推移

No	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
①	事業費（決算額）（千円）	6,501	7,496	6,964
事業費内訳	借地料	1,908	1,908	1,908
	人件費負担金（JA）	1,500	1,500	1,500
	消耗品（肥料、苗、農薬など）	1,067	961	1,108
	修繕費	180	1,206	434
	委託料（館内清掃、警備システムなど）	556	568	622
	電気代	525	602	539
	傷害保険料	143	164	190
	その他（水道・電話代・コピー機など）	622	587	663
②	人件費	16,730	16,378	16,206
	従事職員数（人）	4.00	4.00	4.00
③	総事業費（①＋②）（千円）	23,231	23,874	23,170
財源内訳	一般財源（千円）	22,230	22,849	22,110
	特定財源（講座参加費）（千円）	1,001	1,025	1,060
	財源合計（千円）	23,231	23,874	23,170

【参考比較】

他市の実施状況等

設置主体（施設名）		刈谷市（刈谷生きがい楽農センター）	豊田市（農ライフ創生センター）
設置目的		遊休農地の活用と農業後継者育成、及び定年退職者の生きがいの場をつくる。	定年退職者などを新たな担い手とし、遊休農地の活用と高年齢者の生きがいづくりを進める。
長期講座	種類	野菜づくり研修	・担い手づくりコース（新規就農科、地産地食科、山間営農科下山、山間営農科旭） ・農地活用帰農コース
	期間	1年	担い手：2年 農地活用：1年
	参加者数	20人	担い手：31人 農地活用：11人
短期講座		なし	旬の野菜づくりコース ・春夏野菜科、秋冬野菜科 ・育てて食する下山体験塾

【課題】

課題

活動実績・事業成果等を踏まえて記入

アグリライフ支援センターは開設から8年を迎え、野菜づくり入門コースの修了生は第14期までで241人となりました。これまでの取り組みの効果を検証し、今後の講座（野菜づくり入門コース、スポット講座等）の実施方法、募集人数、抽選方法等について、継続して検討する必要があります。併せて、施設のあり方・実施主体についても見直しを含めた検討の必要性があると捉えています。

【論点】

公開行政レビューでの論点

当センターの8年間の実績を踏まえ、抽出された課題の改善を図りながら、今後も事業を継続実施していきたいが、どうか。

平成29年度安城市公開行政レビュー対象事業候補一覧表

資料2

選定区分	No.	課名	事業分野	事務事業名	事務事業の内容	H28 年間 経費 （千円） （A＋B）	H28 事業費 （千円） （A）	H28 職員 人件費 （千円） （B）	事務事業総点検の結果を踏まえた取組方針			論点及び事務局選定理由	過去のレビュー等実施の有無
									事業の必要性	改善の必要性	取組方針 （見直しの方向性）		
市選定	1	環境都市推進課	環境	秋葉いこいの広場施設管理運営事業	環境展示、体験スペースや多目的室などからなる環境学習センターとテニスコート2面を有する施設です。 環境学習センターでは、体験講座やイベントを通じて自然や環境問題について学べる機会を提供しているほか、一般利用として多目的室やテニスコートの貸出も行っています。	24,729	18,429	6,300	継続	見直し	利用状況や、社会情勢の変化、老朽化及び今後の維持管理経費等を考慮しながら、存廃を含めた今後の施設のあり方を検討する。	【論点】 秋葉いこいの広場の廃止及び環境学習機能の移転について 【選定理由】 秋葉いこいの広場は施設の老朽化が進んできていることから、現行の指定管理が終了する平成30年度末をもって廃止したいと考えており、施設の廃止にともなう環境学習機能の移転について意見をいただきたい。	無
	2	都市計画課	都市整備	あんくるバス利用促進事業	無料券の配布などにより、未利用者への乗車機会を提供することで、あんくるバスの利用者増を図ります。	1,685	425	1,260	継続	見直し	あんくるバスの無料乗車キャンペーンについて、平成29年度までの実績を踏まえた効果検証を行い、廃止・継続の検討を行う。	【論点】 あんくるバスの無料乗車キャンペーンの今後の方向性について 【選定理由】 あんくるバス利用促進事業は事業開始から6年が経過し、効果検証を行う必要がある。 また、事業内容もわかりやすく、市民にとって身近な事業であることから模擬レビューの対象事業としたい。	無

平成29年度安城市公開行政レビュー対象事業候補一覧表

資料2

選定区分	No.	課名	事業分野	事務事業名	事務事業の内容	H28 年間 経費 （千円） （A＋B）	H28 事業費 （千円） （A）	H28 職員 人件費 （千円） （B）	事務事業総点検の結果を踏まえた取組方針			論点及び事務局選定理由	過去のレビュー等実施の有無
									事業の必要性	改善の必要性	評価内容		
①	1	秘書課	企画	広報あんじょう発行事業	現在、広報あんじょうは毎月2回（1日、15日）発行し、全戸配布を行っています。原稿は、市役所各課、関係機関、団体から提出される原稿や広報担当者が独自に取材した内容を、特集・お知らせ・その他のページの記事として掲載しています。	64,404	43,614	20,790	継続	見直し	他自治体の先進事例を調査研究し、その結果等を踏まえた上で広報紙の発行回数のあり方等を総合的に検討する。	【論点】 広報紙の発行回数等のあり方について 【選定理由】 ウェブサイトの拡充と広報紙の発行回数のあり方（月2回⇒月1回）について、調査研究をしているが、回数の減少に伴い、タイムリーな情報発信等について課題があるため、意見をいただきたい。	有 H23仕分け
	2	総務課	教育振興	私立高等学校等授業料補助事業	保護者の経済的負担の軽減、教育の機会均等の原則を確保し、あわせて私立高等学校等の教育振興に寄与するために、私立高等学校等に在籍する者の保護者に対して、授業料の補助を行っています。	18,417	16,212	2,205	継続	見直し	私立高等学校に在籍する者の保護者の経済的負担の軽減と教育機会の均等を図るため、高所得者に対する支給制限と低所得者から中所得者までの補助内容をあわせて検討し、最適な補助制度への見直しを行う。	【論点】 私立高等学校等授業料補助の見直しについて 【選定理由】 限られた財政状況の中で、真に支援を必要とする方への補助制度に内容を見直したい。	無
	3	生涯学習課	生涯学習	市民盆踊りの集い開催事業	今年で、47回目を迎える市民盆踊りの集いは、安城市青年団協議会（青少年団体）の活動のアピールの場として行っています。盆踊りを通して、市内外の青少年団体のみならず、各種団体との交流を深めています。また、市民に対しても日本の伝統文化である盆踊りを開催して、夏の一大イベントとなっています。	2,945	2,000	945	継続	見直し	社会情勢の変化に伴い、青年団活動が下火になっており、盆踊りの開催が重荷となっていることから、市民盆踊りの集い開催事業については関係機関と協議し、今後のあり方を検討する。	【論点】 市民盆踊りの今後のあり方について 【選定理由】 社会情勢の変化に伴い、青年団活動が衰退し、市民盆踊りの開催が重荷となっていることから、市内の青年団体の活躍の場の創出を目的として始まった本事業の継続実施の可否について意見をいただきたい。	無

平成29年度安城市公開行政レビュー対象事業候補一覧表

資料2

選定区分	No.	課名	事業分野	事務事業名	事業概要	事務局選定理由	過去のレビュー等実施の有無
②	1	学校教育課	教育振興	学校図書館教育推進事業	子どもの読書活動を推進するために、平成29年度から全小中学校に学校司書を配置するとともに、図書情報館（アンフォーレ）と学校を結ぶ図書物流ネットワークを県内で初めて導入しました。学校図書館の利用促進に向け、司書教諭や地域ボランティア、図書情報館と連携を図りながら、読書活動及び学習活用支援の更なる充実を図っていきます。	【選定理由】 平成29年度から各校1名体制に向けて学校司書を配置しており、司書配置による期待される効果やアンフォーレとの連携等について市民に周知を図りながら、事業効果を高めるために意見をいただきたい。	無
	2	スポーツ課	生涯学習	ホームチームサポーター事業	スポーツを見る楽しさを感じ、さらにスポーツをするきっかけにつながるよう、安城市をホームとする全国レベルの企業チームのトップレベルの試合が観戦できる機会の充実を図るとともに、その企業チームを市民が応援し、また選手がジュニア世代に技術指導等を行うことで、よりスポーツに親しみが持てるような魅力あるまちづくりを目指していきます。	【選定理由】 第8次総合計画に掲げる「幸せつながる健幸都市」の実現に向けた健幸事業の1つであるとともに、平成27年度から実施している新規事業である。事業内容や今後の事業展開等について市民に周知を図りながら、事業効果を高めるために意見をいただきたい。	無